

本校の教育目標及び本科教育目標

	学校教育目標	一般学科	機械工学科	電気・電子システム工学科	情報工学科	環境都市工学科	建築学科
1	ものづくり能力 社会の変化と要請を的確に捉え、ものづくりを多面的に認識し、実現可能なシステムを構築できる技術者の養成	社会系：社会的な問題に対しても、多様な捉え方があることを理解し、技術者として社会に対して果たすべき責任を自覚する。	機械工学科専門科目及び国語、社会等の一般科目を体系的に学習し、ものづくりを実現可能とする能力を身につける。	電気エネルギーの運用（発生、輸送、変換）に関する原理、エレクトロニクスの基礎、コンピュータによる情報・通信（情報の保持・変換・伝達）の概念を理解している技術者となる。	ハードウェア・ソフトウェアに関する知識・技能を総合的に活用することにより、実現可能なコンピュータシステムを構築できる能力を身につける。	社会基盤への要求やその役割について理解し、さまざまな視野から構造物や社会システムについての設計・開発能力を身につける。	与えられた設計条件の下で、様々な問題を解決し、バランス良くデザイン・提案する能力を身につける。
2	基礎学力 実験・実習で培われる豊かな体験と基礎理論の深い理解との融合から生まれるエンジニアリング基盤の確立	理数系：工学への応用に資することに配慮して、数学・理科の基本的内容を修得し、科学的思考力を身につける。	数学、物理及び工学の基礎の修得と豊富な実験・実習体験を通じて、技術者の基礎となる活きた学力を身につける。	現象の観察・体験を出発点として学習することによる電気・電子回路及び電気磁気学等の基礎的内容を身につける。	電気回路・デジタル回路・ソフトウェア開発などの実験・実習を通して、数理基礎をはじめとした情報工学における個々の基礎理論を深く理解するとともに、総合力を身につける。	数学・自然科学の基礎や専門の基礎理論について理解し、実験実習を通して実践的技術者に欠かせない計測技術やデータ整理技術を習得する。	建築分野に必要な知識や技術を理解し、それらを応用して問題を解決する能力を身につける。
3	問題解決能力 問題意識と考える力を持ち、自ら学習することによる創造力と実践力を備えた技術者の養成		実験や研究を通じて、自ら工学的な問題を設定でき、それを解決するための道筋を示し、実行することができる能力を身につける。	実験、研究の背景を意識し、実験データを科学的に分析でき、簡単な考察を加えることのできる技術者となる。	現実の問題や未知の問題に対して、問題の本質を的確に捉え、コンピュータを活用した問題解決手法を自ら立案・推進できる能力を身につける。	防災、環境、社会資本整備等について自ら学習し、問題を提起する能力を身につける。また、問題の解決策を豊かな発想で創造できる技術者となる。	建築図面を理解し、設計する能力を身につける。ドローイングやCADによる作図技術や模型製作技術を習得する。
4	コミュニケーション能力 科学的な分析に基づく論理的な記述力、明解な口頭発表能力、十分な討議能力及び国際的に通用するコミュニケーション能力の修得	言語系：技術者として必要な言語運用能力の基礎を身につける。	実習・実験及び研究の成果を、理解しやすくレポートや報告書にまとめ、有意義な口頭発表を行うことができる能力を身につける。	得られた成果を短い報告書にまとめ、わかりやすく口頭発表する能力を身につける。	実験・実習・研究の結果を、筋道を立てて報告書にまとめ、説得力のある口頭発表を行なう能力を身につける。	実験や研究の成果について、記述力、口頭発表能力及び討議能力を培う。	設計意図や内容を十分に伝達できる説明力とプレゼンテーション力を身につける。
5	技術者倫理 世界の文化・歴史の中で、技術が社会に与える影響を考え、自らの責任を自覚し誇りを持つことのできる技術者の育成	人文系：人格形成のための教育として位置づけ、日本や世界の伝統的なものごとの見方・考え方や論理的思考を身につける。 芸術・体育系：生涯にわたる健康保持・増進のために、スポーツを通して心身を鍛えるとともに感性を豊かにし、健全な精神を身につける。	社会における技術者の役割や責任及び望ましいありかたを自ら求めることができる能力を身につける。	社会における技術者の役割を意識した技術者となる。	情報モラルを有し、コンピュータやネットワークが社会に与える影響を考慮できる技術者となる。	日本や世界の文化・歴史、技術が社会に与える影響を理解し、また、自らにも社会にも誠実であり、誇りと責任感を有する技術者となる。	日本や世界の文化や歴史を多面的に認識する能力を身につける。

学習・教育到達目標

建築学科（建築学プログラム）では、次の5項目を教育目標としています。これらは、建築業務を通じて社会に貢献し続け、顧客の信頼を築く上で重要な事項です。学校を卒業した後でも、この学習・教育到達目標の意味を考え、実行し続けることは、建築に携わる者として重要な事です。

A 広い視野から建築に関する問題を捉え、解決できる技術者をめざす（ものづくり能力）

与えられた設計条件の下で、様々な問題を解決し、バランス良くデザイン・提案する能力を有する。

B 建築に必要な基礎知識を備えた技術者をめざす（基礎学力）

建築分野に必要な知識や技術を理解させ、それらを応用して問題を解決する能力を有する。

C 実務能力を備えた技術者をめざす（問題解決能力）

建築図面を理解し、設計する能力を有する。ドローイングやCADによる作図技術や模型製作技術を有する。

D コミュニケーション能力が優れた技術者をめざす（コミュニケーション能力）

設計意図や内容を十分に伝達できる説明力とプレゼンテーション力を有する。

E 文化に通じ倫理観を持つ技術者をめざす（技術者倫理）

日本や世界の文化や歴史を多面的に認識する能力を有する。

各教育目標には次の意味があります。

A	建物を設計・施工していく上では、様々な利害を調整して最適な事項を選択する必要があります。そのため、問題の原因を分析し、全体から眺めて、バランス良く解決していく能力が必要になります。
B	社会では、理論に裏打ちされた方法で、物事を判断する必要があります。論理的思考力を養って下さい。また、技術の進歩は著しく、毎日新しい物・新しい考え方が発生します。これら新しいことを自分の力で学習する能力は、建築に限らず、これから生きていく上で重要な能力です。
C	報告書の作成、図面作成能力無くして、業務遂行はできません。
D	仕事では、施主や協力業者などの多数の人間と相談・会議を行い、プロジェクトを遂行していく能力が必要になります。必要な情報を的確に間違いなく伝え・解釈する能力を身に付けて下さい。また、今の社会では、外国語（特に英語）を用いて、他国の人間とコミュニケーションをとる能力が求められています。社会で必要とされる最低限の外国語能力を身に付けて下さい。
E	他国・他地域の文化・風土を理解し、それらに応じた設計・施工をする能力は、建築に携わる者に要求されます。多様性のある社会を築く上でも、多様な文化を理解できるようにして下さい。また、専門知識・能力を持つ者は、他の人に対して、神のような力を持つことになります。力を持つ者は、その力を適切に使える能力が必要です。

表1 学習・教育到達目標と基準1の(1)の(a)～(i)との対応

建築学プログラムの学習・教育目標			a	b	c	d	e	f	g	h	i
		<対象科目> 保証される知識・能力									
A	ものづくり能力	A<設計製図, 研究> 社会の変化・要請を捉えて、問題を分析・抽出し、様々な条件の下、設計課題を作成できる、もしくは、特別研究などをまとめることができる。	○			○	◎		◎	○	○
B	基礎学力	B-0<自然科学科目> 数学、自然科学および情報工学の基礎理論に裏打ちされた知識や技術を有する。			◎						
		B-1～B-16<建築学科目>（分野別基準 d-1～d-16 に相当） 建築分野の必要な基礎的知識や技術を有する			○	◎					
C	問題解決能力	C-1<実験演習> 実験・実習を通して、計測技術やデータ分析法、報告書作成できる			○	○				◎	◎
		C-2<設計製図> 図面判読能力および、設計意図・内容を十分に伝達できる説明力とプレゼンテーション力（記述・作図技術や模型製作技術）、討議能力を有する				○	○	◎	○	○	
D	コミュニケーション能力	D-1<設計製図, 研究, 日本語表現, 日本の言葉と文化> 日本語により論理的な記述、口頭発表、討議等ができる。対外発表できる(*1)						◎			
		D-2<英語科目> 英語文献などの読解力と基本的な英語コミュニケーション能力を有する						◎			
E	技術者倫理	E-1<人文社会科目> 日本や世界の文化や歴史を、地球的な視点から多面的に認識し、建築技術が社会に与える影響を理解できる	◎								
		E-2<技術者倫理> 倫理感を持って仕事をするための論理的判断力を有する		◎							
JABEE 学習・教育到達目標（基準 1）											
a	地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養										
b	技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者が社会に対して負っている責任に関する理解										
c	数学及び自然科学に関する知識とそれらを応用する能力										
d	当該分野において必要とされる専門的知識とそれらを応用する能力										
e	種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力										
f	論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力										
g	自主的、継続的に学習する能力										
h	与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力										
i	チームで仕事をするための能力										

*1: 本科卒業研究もしくは専攻科特別研究の成果を、研究分野の関連学協会の主催するシンポジウム、学会、セミナー等で少なくとも1回は本教育プログラム修了までに口頭発表していること。

J A B E E 建築学プログラムの要件の詳細は本校HP参照 <http://arch.toyota-ct.ac.jp/JABEE/index.html>

建築学科専門科目の概要（令和3年度以後の入学者適用分）

1 年

2 年

3 年

4 年

5 年

数理基礎

応用物理学②

解析学②

物理Ⅲ①

統計学②

共通

情報基礎①

技術表現法①

校外実習②

設計製図

(7単位以上)

建築設計製図Ⅰ④

建築設計製図Ⅱ④

建築設計製図Ⅲ④

建築設計製図Ⅳ④

建築CADⅠ①

建築CADⅡ①

製図演習①

空間デザイン②

計画系

(7単位以上)

建築計画Ⅰ②

建築計画Ⅲ②

建築計画Ⅱ②

都市計画②

日本建築史②

西洋建築史②

環境系

(2単位以上)

建築環境工学Ⅰ②

建築環境工学Ⅲ②

建築環境工学Ⅱ①

建築環境実験①

設備系

(2単位以上)

建築設備Ⅰ②

建築設備Ⅱ②

構造力学

(4単位以上)

建築構造力学Ⅰ②

建築構造力学Ⅱ③

建築構造力学Ⅲ②

建築振動学②

建築構造実験①

一般構造

(3単位以上)

建築構法
・木質構造①

鉄筋コンクリート
構造②

構造設計②

鉄骨構造②

基礎構造②

建築防災工学②

材料

(2単位以上)

建築材料②

建築材料実験②

生産

建築生産②

法規

建築法規②

研究

建築学
ゼミナール①

卒業研究⑧

○数値:単位数 ()内: 選択必修科目の必要単位数 ■:選択必修科目 ■:必修科目

建築学科専門科目の概要（平成28年度～令和2年度の入学者適用分）

1 年

2 年

3 年

4 年

5 年

数理基礎

建築概論①

応用物理学②

解析学②

応用物理基礎①

統計学②

共通

技術表現法①

校外実習②

設計製図

(7単位以上)

建築設計製図Ⅰ④

建築設計製図Ⅱ④

建築設計製図Ⅲ④

建築設計製図Ⅳ④

建築設計製図Ⅴ②

建築CADⅠ①

建築CADⅡ①

創造デザイン②

空間デザイン②

計画系

(7単位以上)

建築計画Ⅰ①

建築計画Ⅲ②

建築計画Ⅱ②

都市計画②*1

日本建築史②

西洋建築史②

近代建築史②

環境系

(2単位以上)

建築環境工学Ⅰ②

建築環境工学Ⅲ①

建築環境工学Ⅱ①

建築環境実験①

設備系

(2単位以上)

建築設備Ⅰ②

建築設備Ⅱ②

構造力学

(4単位以上)

建築構造力学Ⅰ②

建築構造力学Ⅱ④

建築構造力学Ⅲ②

建築振動学②

建築構造力学Ⅳ②

建築構造実験①

一般構造

(3単位以上)

建築構法①

鉄筋コンクリート
構造Ⅰ②

鉄筋コンクリート
構造Ⅱ①

木質構造①

鉄骨構造Ⅰ②

鉄骨構造Ⅱ①

基礎構造①

建築防災工学①

材料

(2単位以上)

建築材料Ⅰ②

建築材料実験②

建築材料Ⅱ①

生産

建築生産②

法規

建築法規①

研究

建築学
ゼミナール①

卒業研究⑧

○数値:単位数 ()内:選択必修科目の必要単位数 □:選択必修科目 ■:必修科目

*1:平成29年度以降の入学者は選択科目

建築学科学年学期別配当単位数表

(令和3年度以降入学者)

授業科目	タイプ	種別	単位数	学年学期別配当単位数															備考
				第1学年			第2学年			第3学年			第4学年			第5学年			
				前期	後期	通年	前期	後期	通年	前期	後期	通年	前期	後期	通年	前期	後期	通年	
統計学	A	R	2										2						
解析学A		R	1									1							
解析学B		R	1										1						
応用物理学A		R	1							1									
応用物理学B		R	1								1								
物理Ⅲ		R	1							1									
技術表現法		R	1							1									
情報基礎		R	1	1															
建築CADⅠ		R	1		1														
建築CADⅡ			1					1											選択必修1
製図演習			1				1												
建築設計製図ⅠA		R	2	2															選択必修1
建築設計製図ⅠB		R	2		2														選択必修1
建築設計製図ⅡA		R	2				2												選択必修1
建築設計製図ⅡB		R	2					2											選択必修1
建築設計製図ⅢA		R	2							2									選択必修1
建築設計製図ⅢB		R	2								2								選択必修1
建築設計製図ⅣA		R	2									2							選択必修1
建築設計製図ⅣB		R	2										2						選択必修1
空間デザイン		R	2				2												
建築計画Ⅰ	A		2							2									選択必修2
建築計画Ⅱ	A		2								2								選択必修2
建築計画Ⅲ	A		2									2							選択必修2
日本建築史	A		2								2								選択必修2
西洋建築史	A		2										2						選択必修2
都市計画	A		2										2						
建築環境工学Ⅰ	A		2							2									選択必修3
建築環境工学Ⅱ	B		1								1								選択必修3
建築環境工学Ⅲ	A		2										2						選択必修3
建築環境実験		R	1												1				選択必修3
建築設備Ⅰ	A		2											2					選択必修4
建築設備Ⅱ	A		2													2			選択必修4
建築構造力学ⅠA			1				1												選択必修5
建築構造力学ⅠB			1					1											選択必修5
建築構造力学ⅡA	B		1							1									選択必修5
建築構造力学ⅡB	A		2								2								選択必修5
建築構造力学Ⅲ	A		2										2						選択必修5
建築構造実験		R	1												1				選択必修5
建築振動学	A		2														2		選択必修5
建築構法・木質構造		R	1	1															選択必修6
鉄筋コンクリート構造	A		2										2						選択必修6
構造設計	A		2														2		選択必修6
鉄骨構造	A		2											2					選択必修6
建築防災工学	A		2														2		選択必修6
基礎構造	A		2														2		選択必修6
建築材料	A		2							2									選択必修7
建築材料実験		R	2												2				選択必修7
建築生産	A	R	2														2		必修
建築法規	A	R	2														2		必修
建築学ゼミナール		R	1											1					
校外実習			2												2				
卒業研究		R	8															8	必修
単位数合計			92	4	3	0	6	4	0	12	10	0	11	14	6	10	4	8	
				7			10			22			31			22			

R: 履修科目

選択必修1: 7単位以上、2: 7単位以上、3: 2単位以上、4: 2単位以上、5: 4単位以上、6: 3単位以上、7: 2単位以上

(平成30～令和2年度入学者)

授業科目	タイプ	種別	単位数	学年学期別配当単位数															備考
				第1学年			第2学年			第3学年			第4学年			第5学年			
				前期	後期	通年	前期	後期	通年	前期	後期	通年	前期	後期	通年	前期	後期	通年	
統計学	A	R	2										2						
解析学A	B	R	1										1						
解析学B	B	R	1										1						
応用物理学A		R	1						1										
応用物理学B		R	1							1									
応用物理基礎		R	1						1										
技術表現法		R	1							1									
建築概論		R	1	1															
建築CADⅠ		R	1				1												
建築CADⅡ			1					1										選択必修1	
建築設計製図ⅠA		R	2	2														選択必修1	
建築設計製図ⅠB		R	2		2													選択必修1	
建築設計製図ⅡA		R	2				2											選択必修1	
建築設計製図ⅡB			2					2										選択必修1	
建築設計製図ⅢA		R	2						2									選択必修1	
建築設計製図ⅢB			2							2								選択必修1	
建築設計製図ⅣA			2									2						選択必修1	
建築設計製図ⅣB			2										2					選択必修1	
建築設計製図Ⅴ			2												2			選択必修1	
創造デザイン		R	2		2														
空間デザイン		R	2				2												
建築計画Ⅰ	B		1						1									選択必修2	
建築計画Ⅱ	A		2							2								選択必修2	
建築計画Ⅲ	A		2									2						選択必修2	
日本建築史	A		2							2								選択必修2	
西洋建築史	A		2									2						選択必修2	
近代建築史	A		2												2			選択必修2	
都市計画	A		2										2						
建築環境工学Ⅰ	A		2						2									選択必修3	
建築環境工学Ⅱ	B		1							1								選択必修3	
建築環境工学Ⅲ	B		1									1						選択必修3	
建築環境実験		R	1											1				選択必修3	
建築設備Ⅰ	A		2										2					選択必修4	
建築設備Ⅱ	A		2												2			選択必修4	
建築構造力学ⅠA			1				1											選択必修5	
建築構造力学ⅠB			1					1										選択必修5	
建築構造力学ⅡA	A		2							2								選択必修5	
建築構造力学ⅡB	A		2								2							選択必修5	
建築構造力学Ⅲ	A		2									2						選択必修5	
建築構造力学Ⅳ	A		2										2					選択必修5	
建築構造実験		R	1												1			選択必修5	
建築振動学	A		2													2		選択必修5	
建築構法			1				1											選択必修6	
木質構造			1					1										選択必修6	
鉄筋コンクリート構造Ⅰ	A		2									2						選択必修6	
鉄筋コンクリート構造Ⅱ			1													1		選択必修6	
鉄骨構造Ⅰ	A		2										2					選択必修6	
鉄骨構造Ⅱ			1													1		選択必修6	
建築防災工学			1													1		選択必修6	
基礎構造			1													1		選択必修6	

建築学科学年学期別配当単位数表

(平成30～令和2年度入学者)

授業科目	タイプ	種別	単位数	学年学期別配当単位数															備考
				第1学年			第2学年			第3学年			第4学年			第5学年			
				前期	後期	通年	前期	後期	通年	前期	後期	通年	前期	後期	通年	前期	後期	通年	
建築材料Ⅰ	A		2							2								選択必修 7	
建築材料Ⅱ			1								1							選択必修 7	
建築材料実験		R	2											2				選択必修 7	
建築生産	A	R	2												2			必修	
建築法規	B	R	1												1			必修	
建築学ゼミナール		R	1											1					
校外実習	C		2											2					
卒業研究		R	8														8	必修	
単位数合計			97	3	4	0	7	5	0	11	12	0	12	14	6	12	3	8	
				7			12			23			32			23			

R: 必修科目

選択必修 1: 7単位以上、2: 7単位以上、3: 2単位以上、4: 2単位以上、5: 4単位以上、6: 3単位以上、7: 2単位以上

(平成28～29年度入学者)

[illegible]

建築学科学年学期別配当単位数表

(平成28～29年度入学者)

授業科目	タイプ	単位数	学年学期別配当単位数															備考
			第1学年			第2学年			第3学年			第4学年			第5学年			
			前期	後期	通年	前期	後期	通年	前期	後期	通年	前期	後期	通年	前期	後期	通年	
鉄骨構造Ⅰ	A	2										2					選択必修6	
鉄骨構造Ⅱ		1												1			選択必修6	
建築防災工学		1												1			選択必修6	
基礎構造		1												1			選択必修6	
建築材料Ⅰ	A	2			建築材料Ⅰ				2								選択必修7	
建築材料Ⅱ		1								1							選択必修7	
建築材料実験		2											2				選択必修7	
建築生産	A	2												2			必修	
建築法規	B	1												1			必修	
建築学ゼミナール		1			建築学ゼミナール							1						
校外実習	C	2											2					
卒業研究		8														8	必修	
単位数合計		97	3	4	0	7	5	0	11	12	0	12	14	6	12	3	8	
			7			12			23			32			23			

選択必修1：7単位以上、2：7単位以上、3：2単位以上、4：2単位以上、5：4単位以上、6：3単位以上、7：2単位以上

学校教育目標・学科教育目標・科目関連表(建築学科(令和3年度以降入学者))

学校教育目標	建築学科の教育目標	準学士課程(本科) 科目名			
		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
①ものづくり能力 社会の変化と要請を的確に捉え、ものづくりを多面的に認識し、実現可能なシステムを構築できる技術者の養成	与えられた設計条件の下で、様々な問題を解決し、バランス良くデザイン・提案する能力を身につける。	☐ 建築設計製図IA ☐ 建築設計製図IB ☐ 建築CAD I	☐ 建築設計製図IIA ☐ 建築設計製図IIB ☐ 建築CAD II ☐ 製図演習	☐ 建築設計製図IIIA ☐ 建築設計製図IIIB	☐ 建築設計製図IVA ☐ 建築設計製図IVB ☐ 建築学ゼミナール ☐ 校外実習
		☐ 建築設計製図IA ☐ 建築設計製図IB ☐ 建築CAD I ☐ 建築構法・木質構造	☐ 建築設計製図IIA ☐ 建築設計製図IIB ☐ 建築CAD II ☐ 製図演習 ☐ 空間デザイン ☐ 建築構造力学IA ☐ 建築構造力学IB	☐ 建築設計製図IIIA ☐ 建築設計製図IIIB ☐ 建築構造力学IIA ☐ 建築構造力学IIB ☐ 建築計画 I ☐ 建築計画 II ☐ 日本建築史 ☐ 建築材料 ☐ 建築環境工学 I ☐ 建築環境工学 II ☐ 応用物理学A ☐ 応用物理学B ☐ 物理III	☐ 建築設計製図IVA ☐ 建築設計製図IVB ☐ 建築構造力学III ☐ 建築計画III ☐ 西洋建築史 ☐ 建築環境工学III ☐ 都市計画 ☐ 鉄筋コンクリート構造 ☐ 鉄骨構造 ☐ 建築環境実験 ☐ 建築構造実験 ☐ 建築材料実験 ☐ 建築設備I ☐ 解析学A ☐ 解析学B ☐ 統計学
		☐ 建築設計製図IA ☐ 建築設計製図IB ☐ 建築CAD I	☐ 建築設計製図IIA ☐ 建築設計製図IIB ☐ 建築CAD II ☐ 空間デザイン ☐ 製図演習	☐ 建築設計製図IIIA ☐ 建築設計製図IIIB ☐ 物理III	☐ 建築設計製図IVA ☐ 建築設計製図IVB ☐ 建築環境実験 ☐ 建築構造実験 ☐ 建築材料実験 ☐ 校外実習
		☐ 情報基礎		☐ 建築設計製図IIIA ☐ 建築設計製図IIIB ☐ 技術表現法	☐ 建築設計製図IVA ☐ 建築設計製図IVB ☐ 建築学ゼミナール
				☐ 日本建築史	☐ 校外実習 ☐ 西洋建築史
②基礎学力 実験・実習で培われる豊かな体験と基礎理論の深い理解との融合から生まれるエンジニアリング基盤の確立	建築分野に必要な知識や技術を理解し、それらを活用して問題を解決する能力を身につける。				
③問題解決能力 問題意識と考える力を持ち、自ら学習することによる創造力と実践力を備えた技術者の養成	建築図面を理解し、設計する能力を身につける。ドローイングやCADによる作図技術や模型製作技術を習得する。				
④コミュニケーション能力 科学的な分析に基づく論理的な記述力、明解な口頭発表能力、十分な討議能力及び国際的に通用するコミュニケーション能力の修得	設計意図や内容を十分に伝達できる説明力とプレゼンテーション力を身につける。				
⑤技術者倫理 世界の文化・歴史の中で、技術が社会に与える影響を考え、自らの責任を自覚し誇りを持つことのできる技術者の育成	日本や世界の文化や歴史を多面的に認識する能力を身につける。				

学校教育目標・学科教育目標・科目関連表(建築学科(令和3年度以降入学者))

学校教育目標	建築学科の教育目標	準学士課程(本科)		科目名
		第5学年	課題研究	
①ものづくり能力 社会の変化と要請を的確に捉え、ものづくりを多面的に認識し、実現可能なシステムを構築できる技術者の養成	与えられた設計条件の下で、様々な問題を解決し、バランス良くデザイン・提案する能力を身につける。	☐ 卒業研究	☐ デジタル技術検定	☐ ネットワークスペシャリスト
			☐ CGエンジニア検定	☐ データベーススペシャリスト
			☐ 技術士第一次試験	☐ ITサービスマネージャ
			☐ ロボット製作／ロボット設計製作	☐ エンベデッドシステム スペシャリスト
			☐ 設計競技	☐ 情報処理安全確保支援士試験
			☐ 設計競技(全国)	☐ ITストラテジスト
			☐ 設計競技(国際)	☐ システムアーキテクト
			☐ 特別校外実習	☐ プロジェクトマネージャ
			☐ 自然資源活用ものづくり	☐ システム監査技術者
			☐ ITパスポート試験	☐ 産学連携実践セミナー(短期)
	☐ 基本情報技術者	☐ 産学連携実践セミナー(長期)		
	☐ 応用情報技術者			
②基礎学力 実験・実習で培われる豊かな体験と基礎理論の深い理解との融合から生まれるエンジニアリング基盤の確立	建築分野に必要な知識や技術を理解し、それらを活用して問題を解決する能力を身につける。	☐ 構造設計	☐ 技術士第一次試験	
		☐ 建築生産	☐ 設計競技	
		☐ 建築法規	☐ 設計競技(全国)	
		☐ 建築防災工学	☐ 設計競技(国際)	
		☐ 建築設備Ⅱ	☐ ものづくりセミナー	
		☐ 基礎構造	☐ 2次元CAD利用技術者	
		☐ 建築振動学	☐ 宅地建物取引士	
			☐ 福祉住環境 コーディネータ検定	
③問題解決能力 問題意識と考える力を持ち、自ら学習することによる創造力と実践力を備えた技術者の養成	建築図面を理解し、設計する能力を身につける。ドローイングやCADによる作図技術や模型製作技術を習得する。	☐ 卒業研究	☐ ロボット製作／ロボット設計製作	☐ 特別校外実習
			☐ 設計競技	☐ ものづくりセミナー
			☐ 設計競技(全国)	☐ 自然資源活用ものづくり
			☐ 設計競技(国際)	☐ 2次元CAD利用技術者
				☐ 産学連携実践セミナー(短期)
		☐ 産学連携実践セミナー(長期)		
④コミュニケーション能力 科学的な分析に基づく論理的な記述力、明解な口頭発表能力、十分な討議能力及び国際的に通用するコミュニケーション能力の修得	設計意図や内容を十分に伝達できる説明力とプレゼンテーション力を身につける。	☐ 卒業研究		
⑤技術者倫理 世界の文化・歴史の中で、技術が社会に与える影響を考え、自らの責任を自覚し誇りを持つことのできる技術者の育成	日本や世界の文化や歴史を多面的に認識する能力を身につける。		☐ 技術士第一次試験	
			☐ 特別校外実習	

学校教育目標・学科教育目標・科目関連表(建築学科(平成28年度～令和2年度入学者))

学校教育目標	建築学科の教育目標	準学士課程(本科) 科目名			
		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
① ものづくり能力 社会の変化と要請を的確に捉え、ものづくりを多面的に認識し、実現可能なシステムを構築できる技術者の養成	与えられた設計条件の下で、様々な問題を解決し、バランス良くデザイン・提案する能力を身につける。	☐ 建築設計製図IA ☐ 建築設計製図IB	☐ 建築設計製図IIA ☐ 建築設計製図IIB ☐ 建築CAD I ☐ 建築CAD II	☐ 建築設計製図IIIA ☐ 建築設計製図IIIB	☐ 建築設計製図IVA ☐ 建築設計製図IVB ☐ 建築学ゼミナル ☐ 校外実習
		☐ 建築設計製図IA ☐ 建築設計製図IB ☐ 創造デザイン ☐ 建築概論	☐ 建築設計製図IIA ☐ 建築設計製図IIB ☐ 建築CAD I ☐ 建築CAD II ☐ 空間デザイン ☐ 建築構造力学IA ☐ 建築構造力学IB ☐ 建築構法 ☐ 木質構造	☐ 建築設計製図IIIA ☐ 建築設計製図IIIB ☐ 建築構造力学IIA ☐ 建築構造力学IIB ☐ 建築計画 I ☐ 建築計画 II ☐ 日本建築史 ☐ 建築材料 I ☐ 建築材料 II ☐ 建築環境工学 I ☐ 建築環境工学 II ☐ 応用物理学A ☐ 応用物理学B ☐ 応用物理基礎	☐ 建築設計製図IVA ☐ 建築設計製図IVB ☐ 建築構造力学III ☐ 建築構造力学IV ☐ 建築計画III ☐ 西洋建築史 ☐ 建築環境工学III ☐ 都市計画 ☐ 鉄筋コンクリート構造I ☐ 鉄骨構造I ☐ 建築環境実験 ☐ 建築構造実験 ☐ 建築材料実験 ☐ 建築設備I ☐ 解析学A ☐ 解析学B ☐ 統計学
		☐ 建築設計製図IA ☐ 建築設計製図IB ☐ 創造デザイン	☐ 建築設計製図IIA ☐ 建築設計製図IIB ☐ 建築CAD I ☐ 建築CAD II ☐ 空間デザイン	☐ 建築設計製図IIIA ☐ 建築設計製図IIIB ☐ 応用物理基礎	☐ 建築設計製図IVA ☐ 建築設計製図IVB ☐ 建築環境実験 ☐ 建築構造実験 ☐ 建築材料実験 ☐ 校外実習
				☐ 建築設計製図IIIA ☐ 建築設計製図IIIB ☐ 技術表現法	☐ 建築設計製図IVA ☐ 建築設計製図IVB ☐ 建築学ゼミナル
				☐ 日本建築史	☐ 校外実習 ☐ 西洋建築史
② 基礎学力 実験・実習で培われる豊かな体験と基礎理論の深い理解との融合から生まれるエンジニアリング基盤の確立	建築分野に必要な知識や技術を理解し、それらを応用して問題を解決する能力を身につける。				
③ 問題解決能力 問題意識と考える力を持ち、自ら学習することによる創造力と実践力を備えた技術者の養成	建築図面を理解し、設計する能力を身につける。ドローイングやCADによる作図技術や模型製作技術を習得する。	☐ 建築設計製図IA ☐ 建築設計製図IB ☐ 創造デザイン	☐ 建築設計製図IIA ☐ 建築設計製図IIB ☐ 建築CAD I ☐ 建築CAD II ☐ 空間デザイン	☐ 建築設計製図IIIA ☐ 建築設計製図IIIB	☐ 建築設計製図IVA ☐ 建築設計製図IVB ☐ 建築環境実験 ☐ 建築構造実験 ☐ 建築材料実験 ☐ 校外実習
④ コミュニケーション能力 科学的な分析に基づく論理的な記述力、明解な口頭発表能力、十分な討議能力及び国際的に通用するコミュニケーション能力の修得	設計意図や内容を十分に伝達できる説明力とプレゼンテーション力を身につける。				
⑤ 技術者倫理 世界の文化・歴史の中で、技術が社会に与える影響を考え、自らの責任を自覚し誇りを持つことのできる技術者の育成	日本や世界の文化や歴史を多面的に認識する能力を身につける。				

学校教育目標・学科教育目標・科目関連表(建築学科(平成28年度～令和2年度入学者))

学校教育目標	建築学科の教育目標	準学士課程(本科)		科目名
		第5学年	課題研究	
① ものづくり能力 社会の変化と要請を的確に捉え、ものづくりを多面的に認識し、実現可能なシステムを構築できる技術者の養成	与えられた設計条件の下で、様々な問題を解決し、バランス良くデザイン・提案する能力を身につける。	☐ 建築設計製図Ⅴ ☐ 卒業研究	☐ デジタル技術検定 ☐ CGエンジニア検定 ☐ 技術士第一次試験 ☐ ロボット製作／ロボット設計製作 ☐ 設計競技 ☐ 設計競技(全国) ☐ 設計競技(国際) ☐ 特別校外実習 ☐ 自然資源活用ものづくり ☐ ITパスポート試験 ☐ 基本情報技術者 ☐ 応用情報技術者	☐ ネットワークスペシャリスト ☐ データベーススペシャリスト ☐ ITサービスマネージャ ☐ エンベデッドシステムスペシャリスト ☐ 情報処理安全確保支援士試験 ☐ ITストラテジスト ☐ システムアーキテクト ☐ プロジェクトマネージャ ☐ システム監査技術者 ☐ 産学連携実践セミナー(短期) ☐ 産学連携実践セミナー(長期)
		☐ 近代建築史 ☐ 鉄筋コンクリート構造Ⅱ ☐ 鉄骨構造Ⅱ ☐ 建築生産 ☐ 建築法規 ☐ 建築防災工学 ☐ 建築設備Ⅱ ☐ 基礎構造 ☐ 建築振動学	☐ 技術士第一次試験 ☐ 設計競技 ☐ 設計競技(全国) ☐ 設計競技(国際) ☐ ものづくりセミナー ☐ 2次元CAD利用技術者 ☐ 宅地建物取引士 ☐ 福祉住環境 コーディネータ検定	
② 基礎学力 実験・実習で培われる豊かな体験と基礎理論の深い理解との融合から生まれるエンジニアリング基盤の確立	建築分野に必要な知識や技術を理解し、それらを応用して問題を解決する能力を身につける。	☐ 建築設計製図Ⅴ ☐ 卒業研究	☐ ロボット製作／ロボット設計製作 ☐ 設計競技 ☐ 設計競技(全国) ☐ 設計競技(国際)	☐ 特別校外実習 ☐ ものづくりセミナー ☐ 自然資源活用ものづくり ☐ 2次元CAD利用技術者 ☐ 産学連携実践セミナー(短期) ☐ 産学連携実践セミナー(長期)
		☐ 建築設計製図Ⅴ ☐ 卒業研究	☐ ロボット製作／ロボット設計製作 ☐ 設計競技 ☐ 設計競技(全国) ☐ 設計競技(国際)	☐ 特別校外実習 ☐ ものづくりセミナー ☐ 自然資源活用ものづくり ☐ 2次元CAD利用技術者 ☐ 産学連携実践セミナー(短期) ☐ 産学連携実践セミナー(長期)
③ 問題解決能力 問題意識と考える力を持ち、自ら学習することによる創造力と実践力を備えた技術者の養成	建築図面を理解し、設計する能力を身につける。ドローイングやCADによる作図技術や模型製作技術を習得する。	☐ 建築設計製図Ⅴ ☐ 卒業研究	☐ ロボット製作／ロボット設計製作 ☐ 設計競技 ☐ 設計競技(全国) ☐ 設計競技(国際)	☐ 特別校外実習 ☐ ものづくりセミナー ☐ 自然資源活用ものづくり ☐ 2次元CAD利用技術者 ☐ 産学連携実践セミナー(短期) ☐ 産学連携実践セミナー(長期)
		☐ 建築設計製図Ⅴ ☐ 卒業研究	☐ ロボット製作／ロボット設計製作 ☐ 設計競技 ☐ 設計競技(全国) ☐ 設計競技(国際)	☐ 特別校外実習 ☐ ものづくりセミナー ☐ 自然資源活用ものづくり ☐ 2次元CAD利用技術者 ☐ 産学連携実践セミナー(短期) ☐ 産学連携実践セミナー(長期)
④ コミュニケーション能力 科学的な分析に基づく論理的な記述力、明解な口頭発表能力、十分な討議能力及び国際的に通用するコミュニケーション能力の修得	設計意図や内容を十分に伝達できる説明力とプレゼンテーション力を身につける。	☐ 建築設計製図Ⅴ ☐ 卒業研究	☐ ロボット製作／ロボット設計製作 ☐ 設計競技 ☐ 設計競技(全国) ☐ 設計競技(国際)	☐ 特別校外実習 ☐ ものづくりセミナー ☐ 自然資源活用ものづくり ☐ 2次元CAD利用技術者 ☐ 産学連携実践セミナー(短期) ☐ 産学連携実践セミナー(長期)
		☐ 建築設計製図Ⅴ ☐ 卒業研究	☐ ロボット製作／ロボット設計製作 ☐ 設計競技 ☐ 設計競技(全国) ☐ 設計競技(国際)	☐ 特別校外実習 ☐ ものづくりセミナー ☐ 自然資源活用ものづくり ☐ 2次元CAD利用技術者 ☐ 産学連携実践セミナー(短期) ☐ 産学連携実践セミナー(長期)
⑤ 技術者倫理 世界の文化・歴史の中で、技術が社会に与える影響を考え、自らの責任を自覚し誇りを持つことのできる技術者の育成	日本や世界の文化や歴史を多面的に認識する能力を身につける。	☐ 近代建築史	☐ 技術士第一次試験 ☐ 特別校外実習	
		☐ 近代建築史	☐ 技術士第一次試験 ☐ 特別校外実習	

選択必修科目について

本科においては、「**選択必修科目**」と呼ばれる専門科目の授業科目グループがあります。選択必修科目については、卒業するまでに、それぞれの授業科目グループに定められた修得単位数の要件を満たす必要があります。

【建築学科 令和3年度以降入学者に適用】

()内の数字は単位数を示す。《 》は令和5年度以降開講科目である。

選択必修1（7単位以上修得）

- | | |
|---|---|
| ☐ 1A 建築設計製図ⅠA(2) | ☐ 1A 建築設計製図ⅠB(2) |
| ☐ 2A 建築CADⅡ(1) | |
| ☐ 2A 建築設計製図ⅡA(2) | ☐ 2A 建築設計製図ⅡB(2) |
| ☐ 3A 《建築設計製図ⅢA(2)》 | ☐ 3A 《建築設計製図ⅢB(2)》 |
| ☐ 4A 《建築設計製図ⅣA(2)》 | ☐ 4A 《建築設計製図ⅣB(2)》 |

選択必修2（7単位以上修得）

- | | |
|--|--|
| ☐ 3A 《建築計画Ⅰ(1)》 | ☐ 3A 《建築計画Ⅱ(2)》 |
| ☐ 3A 《日本建築史(2)》 | ☐ 4A 《建築計画Ⅲ(2)》 |
| ☐ 4A 《西洋建築史(2)》 | |

選択必修3（2単位以上修得）

- | | |
|--|--|
| ☐ 3A 《建築環境工学Ⅰ(2)》 | ☐ 3A 《建築環境工学Ⅱ(1)》 |
| ☐ 4A 《建築環境工学Ⅲ(2)》 | ☐ 4A 《建築環境実験(1)》 |

選択必修4（2単位以上修得）

- | | |
|--|--|
| ☐ 4A 《建築設備Ⅰ(2)》 | ☐ 5A 《建築設備Ⅱ(2)》 |
|--|--|

選択必修5（4単位以上修得）

- | | |
|---|---|
| ☐ 2A 建築構造力学ⅠA(1) | ☐ 2A 建築構造力学ⅠB(1) |
| ☐ 3A 《建築構造力学ⅡA(1)》 | ☐ 3A 《建築構造力学ⅡB(2)》 |
| ☐ 4A 《建築構造力学Ⅲ(2)》 | ☐ 4A 《建築構造実験(1)》 |
| ☐ 5A 《建築振動学(2)》 | |

 選択必修 6（3 単位以上修得）

- | | |
|--|---|
| ☐ 1A 建築構法・木質構造(1) | ☐ 4A 《鉄筋コンクリート構造(2)》 |
| ☐ 4A 《鉄骨構造(2)》 | ☐ 5A 《構造設計(2)》 |
| ☐ 5A 《建築防災工学(2)》 | ☐ 5A 《基礎構造(2)》 |

 選択必修 7（2 単位以上修得）

- | | |
|---------------------------------------|---|
| ☐ 3A 《建築材料(2)》 | ☐ 4A 《建築材料実験(2)》 |
|---------------------------------------|---|

選択必修科目について

本科においては、「**選択必修科目**」と呼ばれる専門科目の授業科目グループがあります。選択必修科目については、卒業するまでに、それぞれの授業科目グループに定められた修得単位数の要件を満たす必要があります。

【建築学科 平成 28 年度～令和 2 年度入学者に適用】

()内の数字は単位数を示す。

選択必修 1（7 単位以上修得）

- | | |
|---|---|
| ☐ 1A 建築設計製図ⅠA(2) | ☐ 1A 建築設計製図ⅠB(2) |
| ☐ 2A 建築CADⅡ(1) | |
| ☐ 2A 建築設計製図ⅡA(2) | ☐ 2A 建築設計製図ⅡB(2) |
| ☐ 3A 建築設計製図ⅢA(2) | ☐ 3A 建築設計製図ⅢB(2) |
| ☐ 4A 建築設計製図ⅣA(2) | ☐ 4A 建築設計製図ⅣB(2) |
| ☐ 5A 建築設計製図Ⅴ(2) | |

選択必修 2（7 単位以上修得）

- | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|
| ☐ 3A 建築計画Ⅰ(1) | ☐ 3A 建築計画Ⅱ(2) |
| ☐ 3A 日本建築史(2) | ☐ 4A 建築計画Ⅲ(2) |
| ☐ 4A 西洋建築史(2) | ☐ 4A 都市計画(2)*1 |
| ☐ 5A 近代建築史(2) | |

*1：平成 29 年度以降入学者は選択科目

選択必修 3（2 単位以上修得）

- | | |
|--|--|
| ☐ 3A 建築環境工学Ⅰ(2) | ☐ 3A 建築環境工学Ⅱ(1) |
| ☐ 4A 建築環境工学Ⅲ(1) | ☐ 4A 建築環境実験(1) |

選択必修 4（2 単位以上修得）

- | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|
| ☐ 4A 建築設備Ⅰ(2) | ☐ 5A 建築設備Ⅱ(2) |
|--------------------------------------|--------------------------------------|

選択必修 5（4 単位以上修得）

- | | |
|---|---|
| ☐ 2A 建築構造力学ⅠA(1) | ☐ 2A 建築構造力学ⅠB(1) |
| ☐ 3A 建築構造力学ⅡA(2) | ☐ 3A 建築構造力学ⅡB(2) |
| ☐ 4A 建築構造力学Ⅲ(2) | ☐ 4A 建築構造力学Ⅳ(2) |

☐ 4A 建築構造実験(1)

☐ 5A 建築振動学(2)

 選択必修 6 (3 単位以上修得)

☐ 2A 建築構法(1)

☐ 2A 木質構造(1)

☐ 4A 鉄筋コンクリート構造 I (2)

☐ 4A 鉄骨構造 I (2)

☐ 5A 鉄筋コンクリート構造 II (1)

☐ 5A 鉄骨構造 II (1)

☐ 5A 建築防災工学(1)

☐ 5A 基礎構造(1)

 選択必修 7 (2 単位以上修得)

☐ 3A 建築材料 I (2)

☐ 3A 建築材料 II (1)

☐ 4A 建築材料実験(2)